



教委だより

No.419

平成30年3月23日

編集発行 富山県教育委員会

発行人 教育企画課長

特集 Stop! ザ・ネットトラブル (p2)

平成29年度「とやま高校生ものづくりマイスター」認定式



認定を受けた生徒の皆さん



認定証の授与



代表生徒による謝辞

Contents (主な内容)

- 特集 Stop! ザ・ネットトラブル2p
- 富山県公立学校の教員等の資質向上のための指標の策定2p
- とやま学校多忙化解消推進会議2p
- 2017 愛顔つなぐえひめ国体3p
- 富士の国やまなし国体3p
- にいがた妙高はね馬国体3p
- 「富山マラソン2018」について3p
- 平成30年度 富山県教育委員会重点施策の体系4~5p
- 「ふるさととやまの自然科学ポイントラリー」認定証交付6p
- 「かたろう富山の農業・ゆめ・みらい」作文コンクール表彰式6p
- 第35回 富山県高等学校生徒海外派遣団結団壮行式6p
- 平成29年度 富山県学校給食優良学校等表彰式6p
- 公民館親子で高志の国探検事業7p
- 平成29年度 高校生とやま県議会7p
- 探究科学科三校合同課題研究発表会7p
- 平成29年度 全国体力・運動能力等調査の結果について8p
- 第5回 科学の甲子園ジュニア (中学生) 全国大会9p
- 教師力向上支援事業 -報告会-9p
- 開所40年記念特別展 遺跡保護のあゆみ9p
- インフォメーション9p
- 総合教育センターNOW10~11p
- 学校レポート
- 「質実剛健 自主自立 の精神を育成
 一文科省SGHの指定を活かす一」
- 富山県立高岡高等学校12p
- リレーエッセイ「いろいろな人生に触れる」
富山県中学校教育研究会会長 小矢部市立石動中学校長
吉倉 哲夫12p

「とやま高校生ものづくりマイスター」に31名認定

本県は、世界的にも高い技術力を持った企業が多く立地し、日本海側屈指の工業集積を有する「ものづくり県」となっています。こうしたなか科学技術の目覚ましい進歩や、社会経済情勢の変化にもしっかりと対応できる、豊かな教養と高い技術を身につけた人材が一層求められています。

このため、県では、県内高校の工業科で学ぶ生徒に、より専門性を深めてもらい、将来は地域産業を支える人材となってもらえるよう、昨年度から、各学校の取組みや、生徒の成長を応援する「高校生ものづくりマイスター育成事業」を実施しています。

工業科での学習に、3年間真摯に取り組んできた成果として、「ものづくり」に関する全国大会等において、特に優秀な成績を収めた生徒や、高度な資格を取得した生徒など、31名がその努力を讃えられ、第2回の「とやま高校生ものづくりマイスター」として、2月20日に認定を受けました。

特集

Stop! ザ・ネットトラブル

～その6～

～オンラインゲームの世界～

無料のスマートフォン向けゲームアプリが急速に普及し、児童生徒のゲーム依存や高額課金などのネットトラブルが増加しています。

□スマートフォン向け人気ゲームアプリ（※いずれも課金有り）

モンスターストライク（通称モンスター）

様々なモンスターを集めて冒険するゲーム。オンラインで最大4人同時にプレーが楽しめる。

パズル&ドラゴンズ（通称パズドラ）

伝説のドラゴンを求めて、同じ色のドロップを縦か横に3つ揃えて消すパズルゲーム。

LINE：ディズニーツムツム（通称ツムツム）

ディズニーのぬいぐるみTSUM TSUM(ツムツム)を3個以上集めてつなげるパズルゲーム。

どうぶつ森ポケットキャンプ（通称どう森）

どうぶつたちが暮らす世界で、テントや家具を自由にレイアウトしてキャンプ場を作るゲーム。

□**ゲーム依存は国際問題** WHO（世界保健機構）では、日常生活に支障をきたすほどのゲームへの依存を「ゲーム症・障害」として新たに疾病とする方針で、特に、若年層の依存症が国際的な問題となっています。

□ゲームは無料、アイテムは有料！

課金でアイテムが欲しい！
 ・優位にゲームを進めたい
 ・仲間に賞賛されたい
 ・手頃な金額で手に入る



（課金方法）
 ・クレジットカードで決済
 ・コンビニ等でプリペイドカードを購入

数ヶ月後…

10万!?



※県内の生徒が30万円以上の課金をした例もあります。

- 対策の例**
- e-ネットキャラバン等を活用した児童生徒や保護者向けのネットトラブル防止教室を行う。
 - 児童生徒が自分たちのネット利用の実態について話し合い、学校ネットルールを作る取組を行う。
 - 保護者会等で、クレジットカードの管理やスマートフォンの課金設定の確認等について依頼する。

富山県公立学校の教員等の資質向上のための指標の策定

大量退職・大量採用の影響により経験の浅い教員が増加する中、教育課程・授業方法の改革への対応を図るため、平成29年4月に教育公務員特例法の一部を改正する法律が施行され、教育委員会（任命権者）に、校長及び教員の職責、経験及び適性に応じてその資質の向上を図るために必要な指標を定めることが求められました。

そのため、富山県教育委員会では、キャリアステージに応じて求められる資質を確認しつつ、生涯にわたって学び続ける教員が育つことを目指して「富山県公立学校の教員等の資質向上のための指標（以下「指標」という）」を策定しました。

指標は、教員としての職責、経験、適性に応じて身に付けるべき資質について、教員がキャリアステージに応じた資質の向上を図る際の目安として、そして、さらに高度な段階を目指す手がかりとなるものです。

富山県では、これまで公立小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の校種の別を設けず研修を実施してきたことから、管理職（校長・教頭）、教諭、養護教諭、栄養教諭の各指標は、全校種共通としています。

ふるさと富山に誇りと愛着を持ち、未来を切り拓く子どもたちを育てるため、教員一人一人が本指標を活用しつつ、資質の向上に取り組んでいただけたらと考えています。

教諭の資質向上のための指標

< >：各成長に関する段階のキーワード

成長に関する段階 (教職経験年数の目安)	着任時に求める姿<理解>	基礎期<実践>	向上期<伸長>	先立 発展期<助言>
資質能力	教員を志す者として、大学卒業時に身に付けておくべき知識・技能について理解している。	5年経過後までの教員 幅広い教職経験 教育公務員としての自覚及び教員としての基礎的な力を身に付ける。	10年経過後までの教員 自身の専門性を向上させ、グループのリーダーとして牽引する意欲と力を身に付ける。	10年以上の教員 幅広い教職経験 学校運営の中核的な役割を果たす存在として、よりよい学校づくりに参画する。
教職として	社会人としての一般常識や人権意識が身に付いており、豊かな人間性をもっている。 +自分の考えを適切に伝えるなど、円滑なコミュニケーションを行っている。 +他人の意見に謙虚に耳を傾けている。 +児童生徒への愛情と、教職に	法令を遵守し、目的の職務を誠実かつ公正に遂行する。 +周囲の状況や相手の思いや考えを汲み取り、自分の考えを適切に伝えるなど、円滑なコミュニケーションを行う。	法令を遵守し、目的の職務を誠実かつ公正に遂行する。 +円滑なコミュニケーションにより、互いに助け合い支え合う雰囲気醸成する。	
		富山を愛し、教職への誇り		

とやま学校多忙化解消推進会議

12月21日（木）に第2回とやま学校多忙化解消推進会議が開催されました。会議では、教育委員会の取組とその成果、次年度の取組予定について市町村教育委員会の代表や県教育委員会の各室課から報告があり、各学校現場の代表からは、学校の現状についての報告がありました。職員団体の代表からは、多忙化解消に向けての提案や問題点の指摘があり、それらを元に意見交換を行いました。

また、今後の取組として、多忙化解消に向けたチェックリストの作成等に向けて、意見集約を行うことになりました。この内容については、次年度発行の「とやま学校多忙化解消の推進方針2018（仮称）」で紹介する予定にしています。



第2回とやま学校多忙化解消推進会議の様子

えがお 2017 愛顔つなぐえひめ国体(第72回国民体育大会)



去る9月30日(土)から10月10日(火)まで、2017愛顔つなぐえひめ国体(第72回国民体育大会)が愛媛県(一部競技は高知県、兵庫県で実施)において開催されました。

今大会では、水泳競技少女高飛込種目の長澤明生選手(国際大付属高校)、ウエイトリフティング競技少男+105kg級トータルで村上堅信選手(滑川高校)、カヌー競技スプリント少女K-2(500m、200m)で浦田樹里・中田舞絢ペア(ともに水橋高校)、同じくカヌー競技スプリント少男C-2(200m)で福島晴貴・平井兵馬ペア(ともに水橋高校)が準優勝するなど、昨年の少年種別の入賞数を上回り、中・高校生が躍進した大会となりました。このほか、成年種別の4競技の優勝をはじめ、60種目(少年種別29種目)で入賞しました。



富士の国やまなし国体(第73回国民体育大会冬季大会スケート競技会)

1月28日から山梨県で開催された冬季国体スケート競技会では、高橋菜那選手(ダイチ株)が、スピードスケート成年女子3000mで優勝、1500mで準優勝しました。また、同1000mは辻中杏奈選手(同)が7位入賞しました。

にいがた妙高はね馬国体(第73回国民体育大会冬季大会スキー競技会)

2月25日から新潟県妙高市で開催された冬季国体スキー競技会では、開会式で富山県選手団の旗手を務めた、廣瀬峻選手(雄山高校)がクロスカンントリー少年男子で6位入賞、また、廣瀬悠選手(雄山高校)と宮木真帆選手(雄山高校)が出場したクロスカンントリー女子リレーで7位入賞しました。そのほか、成年男子Bでは、アルペンで水口雄太選手(南砺市役所)が2年連続6位入賞、コンバインドで山元駿選手(株ゴールドウィン)が7位入賞、クロスカンントリーで松原賢選手(松井製材所)が8位入賞しました。



クロスカンントリー少年男子
廣瀬 峻選手



クロスカンントリー女子リレー
富山県選抜

「富山マラソン2018」について

問合せ先 富山マラソン実行委員会事務局 TEL 076-444-4102

開催日：平成30年10月28日(日)

皆さまのエントリーをお待ちしております!

※詳細は、公式HPをご覧ください

富山マラソン

検索

種目	マラソン(42.195km)	車いす(9km)	ジョギングの部(約4km)
定員	12,000人	30人	1,000人
エントリー開始日	・4月7日(土)～(県民先行枠、富山マラソン応援枠) ・4月21日(土)～(一般枠ほか)		4月21日(土)～

平成30年度富山県教育委員会重点施策の体系

① 学校、家庭、地域で取り組む 子どもの成長支援

〔子どもの健全な育成と地域の教育力の充実〕

- 拡** とやまの子どもを守るネットトラブル防止対策事業 (2,375) ★
- ・ 土曜日の豊かな教育活動推進事業 (12,542) ★
- ・ 公民館親子で高志の国探検事業 (2,000) ★
- ・ 放課後子ども教室推進事業 (27,437)
- ・ 中学校放課後学習支援推進事業 (7,629)
- ・ 高等学校等就学支援金等 (2,095,865)
- 拡** 公立高等学校奨学のための給付金事業 (172,018)

〔家庭の教育力の向上〕

- ・ とやま親学び推進事業 (3,601) ★
- ・ 家庭教育かわら版事業 (3,100) ★
- ・ 小学1年生 安心子育て支援事業 (638) ★

〔児童等の安全の確保〕

- 新** 学校安全教育推進事業 (1,000)
- 新** 特別支援学校防犯対策事業 (13,000)

② 子どもの可能性を引き出し、 才能や個性を伸ばす教育の推進

〔確かな学力の育成〕

- 拡** とやま型学力向上総合支援事業 (22,658) ★
- ・ 学びのアシスト推進事業 (1,245)
- 新** 新たな学び創造事業 (6,000) ★
- 拡** ICT教育推進事業 (49,453) ★
- 拡** とやま科学オリンピックの開催(第8回) (8,202) ★
- ・ ふるさととやまの自然・科学探究推進事業 (3,330) ★
- ・ スーパーサイエンスハイスクール (981) ★

〔社会で生きる実践的な力の育成〕

- ・ 富山型キャリア教育充実事業 (6,622) ★
- ・ 高校生とやま県議会事業 (930)
- ・ とやまの子ども 夢・ふるさと発見事業 (1,000) ★
- ・ とやまの高校生ライフプラン教育充実事業 (2,000) ★
- ・ 高校生ものづくりマイスター育成事業 (2,349) ★

〔グローバル社会で活躍できる人材の育成〕

- 拡** 小学校英語教育モデル事業 (35,804) ★
- ・ スーパーグローバルハイスクール (6,000) ★
- 拡** とやまの高校グローバルチャレンジ事業 (8,400) ★
- ・ とやまの高校生留学促進事業 (6,847)

③ 子どもの健やかな成長を支え 元気を創造する教育の推進

〔豊かな心と健やかな体の育成〕

- ・ 社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業 (16,134) ★
- 拡** スクールカウンセラー配置事業 (170,294)
- ・ スクールカウンセラーの全小中学校配置
- ・ いじめ対策カウンセラーの派遣
- 拡** スクールソーシャルワーカー活用事業 (19,279)
- ・ いじめ総合対策事業 (25,987)
- ・ いじめ対策ソーシャルワーカーの派遣
- ・ いじめ防止対策推進事業
- ・ 24時間いじめ相談電話の設置
- 新** SNSを活用したいじめ相談モデル事業
- ・ 児童生徒の望ましい食生活の普及事業 (300)
- ・ 「朝から元気とやまっ子」食育・健康教育推進事業 (1,478)

〔少人数教育と校種間連携の推進〕

- ・ 少人数教育推進事業(小学校) (64,220) ★
- ・ 小学校専科教員配置事業 (54,411) ★
- ・ 学びサポート講師配置事業 (36,697) ★
- ・ 中1学級支援事業 (9,175) ★
- ・ 中1・35人学級選択制導入事業 (20,899) ★
- ・ 小中一貫教育研究事業 (2,650)
- ・ 高大連携未来を拓く人材育成事業 (1,500) ★

〔特別支援教育の充実〕

- ・ とやまの特別支援教育強化充実事業 (14,748) ★
- 新** 発達障害教育支援事業 (1,735) ★
- ・ 特別支援学校教諭免許状取得推進事業 (1,520) ★
- 新** 特別支援学校司書配置事業 (1,778)

〔人権や思いやりの心を大切にする教育の推進〕

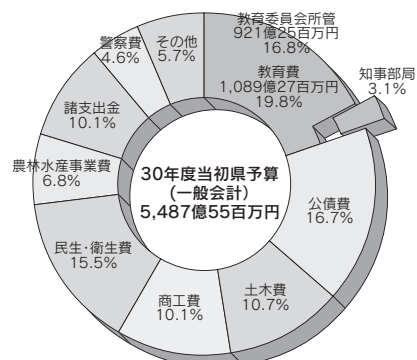
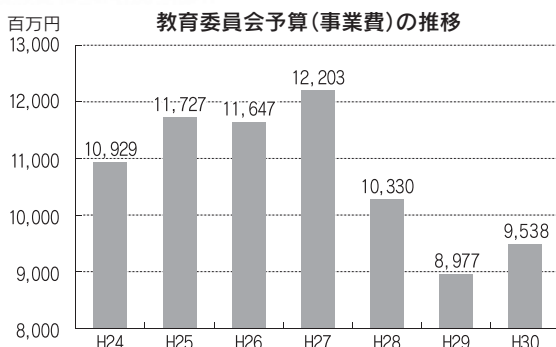
- ・ 人権教育総合推進事業 (1,890)
- ・ いのちの教育総合支援事業 (1,371)

〔教員の資質向上〕

- ・ 教師力向上支援事業 (4,500) ★
- ・ 教師の学び支援塾事業 (1,500) ★
- ・ 教職員人材確保事業 (1,520)
- ・ 採用前研修事業 (500) ★
- ・ とやま学校多忙化解消推進会議の開催 (352)
- 新** スクール・サポート・スタッフ配置事業 (42,850)
- 新** 部活動指導員配置促進事業 (12,033)

教育予算

県財政が厳しい中、教育費は歳出全体の19.8%と最も高い割合を占めています。また、事業費ベースでみた教育委員会の予算は前年度比6.2%増となりました。



(平成30年度当初予算額：千円)

新 はH30年度新規事業 **拡** は昨年度から拡充した事業

ふるさと富山に誇りと愛着を持ち、地域社会や全国、世界で活躍し、未来を切り拓く人材の育成

真の人間力を育む教育の推進

4 社会の変化と多様なニーズに対応した高校や大学等の教育環境の充実

- 〔県立学校の教育環境の整備・充実〕
- ・ 県立学校整備等に関する検討 (1,500)
 - 魅力と活力ある学校づくり推進事業 (13,000) ★
 - 県立学校のトイレ洋式化 (2月補正 470,000)
 - 高等学校建設事業 (426,014)
 - 運動場等整備事業 (152,979)
 - 学校修繕費 (820,000)
 - ・ 科学技術教育設備の充実 (251,417)
- 〔私立学校教育の振興〕
- 私立学校経常費補助金(一般分) (2,400,313)
 - ・ 私立高等学校特色教育振興事業 (180,274)
 - ・ 私立高等学校生徒奨学補助金 (96,620)
 - 私立高等学校等奨学給付金 (65,370)
 - ・ 私立中学校修学支援実証事業 (2,000)
- 〔大学教育・学術研究の振興〕
- 大学コンソーシアム富山事業費等補助金 (7,426)
 - とやま未来創生産学官連携推進会議(仮称)事業 (1,800)
 - ・ 県立大学新棟等新築整備費 (4,353,354)
 - 県立大学看護学部整備費 (2,973,732)

5 生涯を通じた学びの推進

- 〔多様な学習活動の支援〕
- ・ 県民カレッジ本部・地区センターの運営 (56,962)
 - ・ 富山県映像センターの運営 (6,365)
- 〔県民の学習を支える基盤整備〕
- ・ 生涯学習情報ネットワーク事業 (6,758)
- 〔キャリアを磨く実践的な学びの推進〕
- 人生100年時代ひとづくり構想推進事業 (7,000)
 - 先端技術リカレント教育セミナー事業 (5,000)
 - ・ 私立専修学校各種学校開放講座開催事業費補助金 (900)

6 ふるさとを学び楽しむ環境づくり

- 〔学校等におけるふるさと学習の推進〕
- ・ 高校生郷土史・日本史学習教材活用事業 (3,487) ★
- 〔家庭、地域、企業等におけるふるさと学習の振興〕
- 地域課題学び活かしチャレンジ講座 (2,000)
 - ・ 「高志の国文学」情景作品コンクールの実施 (848) ★
 - ・ 「ふるさとの優れた先人に学ぶ」作文コンクールの実施 (957) ★
- 〔高志の国文学館を拠点とするふるさとと文学の振興〕
- 大伴家持生誕1300年記念式典の開催 (6,970)
 - 大伴家持文学賞・高志の国詩歌賞の贈呈 (9,670)
 - 「大伴家持」企画展の開催 (11,700)
 - マンガ「大伴家持」による普及啓発 (3,000)
 - 大伴家持生誕1300年記念関係事業の推進 (21,660)
 - ・ 高志の国文学館企画展等開催事業 (39,661)
- 〔伝統文化の保存・継承〕
- ・ 勝興寺本坊等保存修理事業 (30,000)
 - ・ 文化財の美装化等推進事業 (17,700)
 - ・ 文化財ボランティアの外国人対応力向上事業 (800)
 - 富山の文化遺産魅力発信事業 (1,857)

7 次世代を担う子どもの文化活動の推進

- 〔子どもの様々な文化活動の充実と文化交流の推進〕
- 次世代育成音楽ふれあい事業 (21,000)
- 〔学校における文化活動の充実〕
- ・ 学校巡回劇場開催への支援(小・中) (756)
 - ・ プロの演奏家による学校吹奏楽技術指導の実施 (740)
- 〔富山県美術館をはじめとする文化施設を活用した若い世代の芸術文化活動の振興〕
- 第12回世界ポスタートリエンナーレトヤマ 2018の開催 (30,097)
 - ・ 富山県美術館企画展の開催 (130,271)
 - ・ 富山県美術館の教育普及活動 (18,830)
 - 富山県美術館プロムナード活性化 (9,000)
 - 県立文化施設機能強化推進事業 (200,000)

8 元気を創造するスポーツの振興

- 〔県民がスポーツに親しむ環境づくり〕
- ・ 「富山マラソン2018」の開催 (85,720)
 - ・ 富山県スポーツフェスタの開催 (11,325) ★
 - ・ 東京オリンピック機運創出支援事業 (1,729)
 - ・ 元気とやまスポーツライフサポート事業(生涯) (3,010)
 - ・ 県民の健康づくりを推進するウォーキングイベントの開催 (5,300)
 - ・ スポーツで健康づくり応援事業 (3,000)
 - ・ 学校体育施設の開放 (5,174)
 - 東京2020オリンピック富山県聖火リレー準備事業 (1,500)
 - 健康・スポーツ環境充実検討事業 (12,000)
- 〔学校等における体育・スポーツの充実〕
- ・ 元気とやまスポーツライフサポート事業(学校) (429)
 - スーパーとやま元気っ子育成(みんなでチャレンジ3015)事業 (2,600) ★
 - パラスポチャレンジ事業 (4,000)
 - ・ 学校体育活動サポート事業 (1,387) ★
 - ・ 武道指導者資質向上支援事業 (3,320)
 - ・ スポーツエキスパート活用推進事業 (15,096) ★
 - ・ 環日本海インターハイ親善交流大会への選手派遣 (5,361)
- 〔全国や世界の檜舞台で活躍できる選手の育成〕

- ・ 東京オリンピックを目指すジュニアアスリート育成サポート事業 (3,000)
 - ・ 2020東京オリンピック選手育成強化事業 (2,151)
 - ・ 未来のアスリート発掘事業 (6,000)
 - ・ 元気とやまスポーツ道場開催事業 (18,000) ★
 - ・ 中学・高校運動部スーパーコーチ派遣事業 (3,000)
 - ・ サッカー・野球・駅伝強化事業 (15,000) ★
 - 第75回冬季スキー国体開催推進事業 (217,700)
 - ・ 富山県民スポーツ応援団トップアスリート支援事業 (10,000) ★
 - ・ 世界を目指す障害者スポーツアスリート応援事業 (3,500)
- 〔スポーツを支える人材の養成と活用〕
- ・ 「元気とやまスポーツ大賞」等の贈呈 (664)

9 教育を通じた「ふるさと富山」の創生

- 〔地域を支える人材の育成〕
- ・ 土曜日の豊かな教育活動推進事業 (再掲)
 - ・ とやまの子ども夢・ふるさと発見事業 (再掲)
 - ・ とやまの高校生ライフプラン教育充実事業 (再掲)
 - ・ 富山型キャリア教育充実事業 (再掲)

 : 総合政策局所管事業
 : 厚生部所管事業
 : 生活環境文化部所管事業

★は富山スタンダード : 富山ならではの質の高い教育を行っていくための特色ある取組や環境整備

「ふるさととやまの自然科学ポイントラリー」認定証交付

富山の自然などを通して探究する態度や科学する心を育てるために、副読本「ふるさととやまの自然・科学ものがたり」に掲載されている自然や施設の見学、観察・実験を行うポイントラリーを実施しました。1回の実践（見学、観察、実験等）を1ポイントとしています。今年度、積極的に取り組み、20ポイントに達した5年生21名、6年生53名、計74名に認定証を交付します。

来年度もポイントラリーを行う予定としており、子供たちの意欲的な取組に期待しています。なお、今年度の5年生のみなさんが獲得したポイントは来年度も有効です。

「かたろう富山の農業・ゆめ・みらい」作文コンクール表彰式

県農業教育振興会主催、第16回「かたろう富山の農業・ゆめ・みらい」作文コンクールの表彰式が2月16日（金）、富山県農協会館で行われ11名の受賞者が表彰されました。中学校、高校あわせて151編の応募があり、富山県知事賞には中央農業高校の中道諒さんの「明るく、楽しく儲かる農業」が、富山県教育委員会教育長賞には中央農業高校の漁愛穂さんの「夢への第一歩」、射水市立小杉中学校の石黒太一さんの「農業体験を通して学んだこと」が選ばれました。当日は受賞者を代表して中道さんが、将来は観光農園の後継者を目指し、農業経営にICTと6次産業化を取り入れ「明るく、楽しく儲かる農業」を実現したいという熱い思いを発表しました。



第35回富山県高等学校生徒海外派遣団結団壮行式

1月29日（月）、「環境問題及びふるさと富山と国際交流」をテーマとして実施する第35回富山県高等学校生徒海外派遣の団結団壮行式が総合教育センターで行われました。式では、山崎彩花さん（富山いずみ高2年）に団旗が手渡され、中谷こと葉さん（富山高2年）が団員を代表して「国際社会に貢献できる人材となるため、グローバルで多面的な視点や感覚を身につけてきたい」と述べました。団員20名と団役員等4名は、3月5日（月）～16日（金）までの12日間、富山きととき空港から台北便を利用して、台湾、シンガポール、マレーシアを訪問し、現地高校生・大学生との交流、ホームステイ体験、現地進出の本県企業訪問や富山県人会との交流、史跡、文化遺産見学等の研修を行います。



団員代表謝辞

平成29年度富山県学校給食優良学校等表彰式

1月17日（水）、県庁特別室で平成29年度富山県学校給食優良学校等表彰式が行われました。富山県は、先進的に食育を推進する県として、全国に誇れる取組を展開しています。本表彰は、学校給食の充実や食に関する指導の推進に特に顕著な功績があった学校、団体、個人に与えられます。

本年度は、「高岡市立成美小学校」「魚津市学校給食センター」「池田育代学校栄養職員（県立しらとり支援）」「大毛利裕子調理員（富山市立山室小）」「森永敏子調理員（高岡市立定塚小）」の1校、1場、3名が富山県教育委員会表彰を、公益財団法人富山県学校給食会表彰を4名が受けられました。

今後も、学校・家庭・地域と連携を密にした取組を推進し、食育や健康教育の一層の充実に努めていただきますよう、お願いいたします。





公民館親子で高志の国探検事業

～ ふるさとで遊ぶ！ ふるさとに学ぶ！ ～

将来を担う子供たちの健やかな成長を願い、県では平成20年度から、公民館を拠点として、親や家族と一緒に地域の人々と交流しながら参加するふるさとの学びや身近な自然体験活動を推進しています。今年度は、全15市町村、138公民館で、約12,000人の参加者のもと「杉沢の沢スギ見学」「昔の田植え体験」など、様々な体験活動や学習を実施しました。「いつも見ていた沢スギがとても珍しいスギだったんだ。」「田植えは大変だったけど、みんなで協力できて楽しかった。」など、身近な地域での自然体験やふるさと学習は、子供たちのふるさとへの愛着を育む活動になっています。



【杉沢の沢スギ見学】
入善町上原公民館



【コロガシ体験】
小矢部市立松沢公民館

平成29年度 高校生とやま県議会

12月15日（金）、県内の高校2年生40名の高校生議員が、「外国人にとって魅力的な富山」「働きやすく子育てしやすい富山」「政治意識の向上といじめ対策」「高齢者福祉の向上」「高齢者の防災対策」の5テーマについて、富山の未来をよりよくするための意見を発表しました。

高校生議員は8月に認定証を授与された後、5つの委員会に分かれ、3回の委員会活動で県政への要望や高校生が実践できることを話し合いました。

また、県政に関心をもち、政治への参加意識を高めていくために、県議会の傍聴や知事、県議会議員との意見交換も行いました。



委員会活動の様子



本会議の様子



知事との意見交換

※活動の様子は、生涯学習・文化財室のHPでも紹介しています。

探究科学科三校合同課題研究発表会

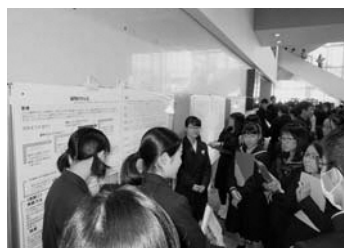
－ステージ発表とポスターセッションによる探究活動の発表と交流－

今年で7回目を迎える、富山、富山中部、高岡高校の探究科学科による「三校合同課題研究発表会」が、12月23日（土）に富山国際会議場で開催され、研究活動の成果を見学しようと他校生徒や中学生、保護者、県内外の教員など多くの方々が来場されました。

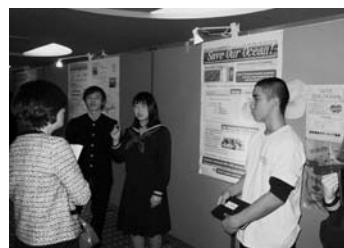
3校の2年生56班によるポスターセッション形式の発表では、実物やタブレットで実験の様子を示したり、英語で発表したりするなど、どの班も熱のこもった発表となりました。また、興味のあるブースで、発表者に質問を投げかけディスカッションする場面も多く見られました。発表した生徒からは「自分たちが作り上げてきたものを知ってもらえることの幸せを感じ、ディスカッションすることで理解が更に深まった。」など、これまでの苦労や充実感の伝わる感想、後輩へのエールも聞かれました。また、今回、初めて3校の交流会が催されるなど、この発表会も新たなステージに入りました。



富山高校 ステージ発表
「グラフに色を塗ってみた～グラフ理論と彩色問題～」



富山中部高校 ポスターセッション
「植物のがん化」



高岡高校 ポスターセッション
「Save Our Ocean!」

平成29年度全国体力・運動能力等調査の結果について

「運動時間が多い（体育・保健体育の授業を除く1週間の総運動時間が420分以上）児童生徒は、体力合計点が高い」というスポーツ庁の調査結果が出ています。本年度スポーツ庁から出された調査結果を活用し、児童生徒が意欲的に運動できるよう、引き続き体力向上への積極的な取組をお願いします。

1 体力・運動能力調査結果の富山県概要

小学校の合計点は、全国の合計点を上回り、運動習慣定着の取組や幼児期からの運動指導の効果が現れていると考えています。

中学校の合計点は、全国の合計点を上回り、過去最高得点となりました。特に、女子の向上は著しく、4年ぶりに全国平均を上回りました。

種目別では、反復横とび（敏捷性）、20mシャトルラン（全身持久力）、立ち幅とび（瞬発力）、ボール投げ（巧緻性）において、小・中学校男女共に全国平均値を上回りました。上体起こし（筋力・筋持久力）、長座体前屈（柔軟性）、50m走（スピード）において全国平均値を下回っていますが、あと1回、あと1cm、あと0.05秒で得点上がる学年もあります。

〈小5・中2の調査結果：悉皆調査〉（網かけ：本県平均値が全国平均値以上の種目）

種目等	小学校第5学年				中学校第2学年			
	男子		女子		男子		女子	
	本県	全国	本県	全国	本県	全国	本県	全国
握力 (kg)	16.62	16.51	16.25	16.12	29.19	28.89	23.69	23.82
上体起こし (回)	19.67	19.92	18.67	18.81	26.54	27.45	22.84	23.73
長座体前屈 (cm)	32.76	33.15	37.30	37.43	42.43	43.20	45.52	45.86
反復横とび (点)	44.08	41.95	42.50	40.06	52.07	51.89	47.29	46.76
持久走 (秒)					391.28	391.23	288.27	287.36
20mシャトルラン (回)	57.74	52.24	46.39	41.62	89.48	85.99	60.80	59.14
50m走 (秒)	9.44	9.37	9.65	9.60	8.04	7.99	8.88	8.80
立ち幅とび (cm)	155.61	151.71	150.24	145.47	199.28	194.54	173.29	168.57
ボール投げ ※1 (m)	23.60	22.53	14.75	13.94	21.18	20.56	13.01	12.96
体力合計点 ※2	55.29	54.16	57.30	55.72	42.53	42.11	50.15	49.97

※1 小学校はソフトボール投げ、中学校はハンドボール投げ

※2 体力合計点は、個々の各種目の記録をそれぞれ1点から10点に得点化し、合計した点数の平均値

2 体力向上に向けた取組について

体力を向上させるためには、調査結果をしっかりと分析し、児童生徒の現状にあった指導計画の改善に取り組むことが大切です。調査報告書や「学校用確認シート」等を活用して、次年度の活動に生かしていただきますようお願いいたします。（いずれもスポーツ庁のHPからダウンロードできます。）

大健闘！第5回科学の甲子園ジュニア(中学生)全国大会

— 富山中部高校は、高校部門(3月16日～18日)で優勝を目指す！ —

12月1日～3日に茨城県つくば市で開催された全国大会には、とやま科学オリンピックの上位入賞者で構成された富山県代表チームが参加しました。

「ステンレス球をできるだけゆっくり転落させる」という工作競技(写真右下)で、1位を目指して果敢に限界に挑戦した結果、期せずして球がストップし、残念ながら記録なしとなりましたが、実験競技で1位(写真左)、筆記競技では3位、と大健闘しました。

県総合教育センターや富山中部高校での研修(写真右下)で技能とチームワークを高め、全国に富山県の存在感を示すことができました。

なお、高校生の第7回科学の甲子園(さいたま市)には、同じくとやま科学オリンピック高校部門で上位を占めた富山中部高校が代表として参加します。富山中部高校も近年、総合成績で5位(第5回)や6位(第4回)といった好成績を獲得しており、今年も活躍が期待されます。



富山中部高校の生徒との合同研修会

教師力向上支援事業 — 報告会 —

教師力向上支援事業の報告会が2月19日(月)に教育次長をはじめ、検討委員の皆様のお出席のもと開催されました。この事業は、教員の自発的な研修を支援することにより、幅広い視野、識見ある教員の育成を図ることを目的に、平成19年度から実施しています。平成29年度は、各校種の教員18名を国内外に派遣しました。

派遣者から「ICTを活用した教育実践及びセキュリティの研究」や「海外(シンガポール・台湾)教育事情視察による教科教育力と進路指導力の向上」等の研修の成果や研修後の実践について報告がありました。



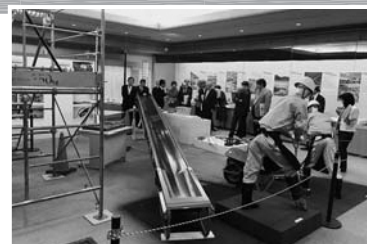
研修報告を行う派遣者

開所40年記念特別展 遺跡保護のあゆみ 富山県埋蔵文化財センター

— 富山県40年間の発掘調査で解き明かされてきた歴史の数々 —

埋蔵文化財センターでは、開所40年を記念し、遺跡保護のあゆみ—富山県40年間の発掘調査で解き明かされてきた歴史の数々—(会期：10月6日～3月22日)を開催しました。

展示では、当センターが40年間に行った発掘調査のうち、北陸自動車道建設や総合運動公園建設に先立つ調査などを取り上げるとともに、日本の歴史に影響を与えた調査成果を紹介しました。また、展示室中央にベルトコンベアやローリングタワーを配置し発掘調査現場を再現し、好評を博しました。



インフォメーション

所場所 内容 対象 募集人数 応募要領
 募集締切 参加料 ホームページ 問い合わせ

塾生(受講者)募集 富山県生涯学習カレッジ 問合せ076-441-8401

平成30年度 県民カレッジ自遊塾 塾生募集案内(締め切り間近)

期日 平成30年2月23日(金)～平成30年4月13日(金)

県民カレッジホームページ、県内の公共機関などに塾生募集案内を掲載・配布。

受講申込書に必要事項を記入の上、申込者1名につき切手82円分を添えてお申込みください。

平成30年4月13日(金)の消印有効。



「いっしょになるために」の講座

入館無料 富山県埋蔵文化財センター 問合せ076-434-2814

企画展「古代へのとびら2018」

期日 4月17日(火)～9月17日(月)

県内各地の遺跡から、貴重な出土品を時代順に紹介し、子供から大人まで楽しく観覧しながら、考古学を基礎から学べます。展示を見ながら、楽しく歴史を学びましょう。社会科の学習にもご活用ください。金曜日



展示を利用した学習

利用案内 公益財団法人富山県ひとつくり財団 問合せ076-444-2000

富山県教育活動応援者ネット～T-EACHネット～

人材を必要とする学校と、学校現場で経験や特技を生かしたい退職教員等を結びサイトをご覧いただき、富山の教育現場を元気にする人材の積極的な活用をお願いします。(県教委委託事業)

http://www.toyama-teach.jp/



T-EACHネットホームページ

総合教育センター NOW

平成29年度 調査研究事業の報告 ◇◇詳しくは各学校に配布する研究紀要をご覧ください。◇◇

教育研修部

教員の授業における指導力向上に関する調査研究（2年次） －校内研修の視点から－

2年次となる今年度の研究は、校内研修で学んだことが、その後の教員の授業における指導力向上につながっているのかを検証しました。研究協力校所属の5名の教員に、授業者及び参加者（授業者以外の校内研修に参加する同僚）として協力をいただき、校内研修とその前後の授業観察や聞き取りを中心に研究を進めました。その結果、授業者及び参加者が校内研修での学びを日頃の授業に生かしていることが分かりました。

科学情報部

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた学習の在り方に関する調査研究（2年次） －ICT活用による授業の支援－

総合教育センターで行った調査では、グループ学習やICT活用に疑問や不安を抱いている先生が少なくないことが分かりました。そこで、研究協力校と共にグループ学習を取り入れた授業の大切なポイントや効果的なICT活用方法をまとめ、実際に授業に取り入れて生徒にどのような効果があったかを検証しました。今年度は国語科、数学科、保健体育科、英語科で実践し、昨年度の結果とあわせてまとめを報告しました。

教育相談部

児童生徒へのチームによる支援の在り方に関する調査研究 －担任が指導に困難を感じている児童生徒への支援体制づくり－

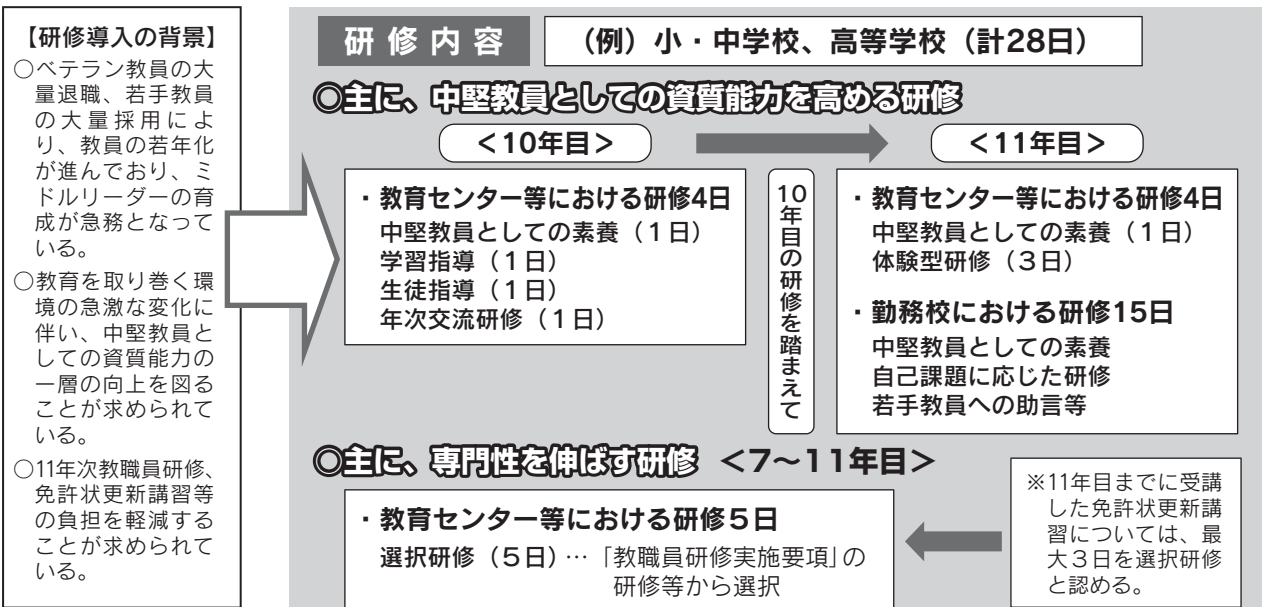
困難な状況にある児童生徒へのチームによる支援のために、行動や心情を捉えて、支援の方針や援助の方策を決定するケース会議は有効です。どの先生にも分かりやすく、どの学校でも使いやすい支援の仕組みとして、短い時間で、情報共有と合意形成を進め、継続的に実践する手順を示した「チーム支援シート」を作成しました。このシートを用いたケース会議の方法を「エピソード・プロセス」と呼び、研究協力校での検証を基に開発を進め、学校支援に活用します。

教育研修部

平成30年度より、中堅教諭等資質向上研修を実施します。

11年次教職員研修が中堅教諭等資質向上研修に変わります。なお、平成30年度は7～10年次教職員を対象とし、11年次教職員を対象とした11年次教職員研修は別途実施します。

◎趣旨 教育公務員特例法第24条の規定に基づき、学校の中核的な役割を果たす中堅教員としての資質の向上を図る研修を行い、学習指導、生徒指導等における実践的指導力や中堅教員としての使命感を高めます。



※校種や職種により、研修内容が異なります。詳細については、「平成30年度 中堅教諭等資質向上研修の手引」を参照してください。

科学情報部

中学校・高等学校教員対象の理科研修のご案内

総合教育センターでは、小学校・中学校・高等学校の先生方を対象に理科の観察・実験研修を開講しています。平成30年度に行われる中学校・高等学校の先生方を対象にした研修について紹介します。

●理科教育講座(実験)中学校コース(1日間)

基本的・発展的な実験や観察について研修を行います。また、中学校教員のニーズに応え、生徒の理科を学ぶ意欲が高まるような研修を心がけています。平成30年度は、「生物的領域」①DNAの抽出、②ネギ根端細胞を用いた体細胞分裂観察、「物理的領域」①てこのはたらき、②とやま科学オリンピックに関連する実験を行う予定にしています。

研修内容

- 平成29年度「化学的領域」「地学的領域」
- 平成30年度「物理的領域」「生物的領域」



＜化学的領域＞
水にとける物質のようすの観察



＜地学的領域＞
月の見え方に関する教具の製作

●理科教育講座(実験)高等学校コース(1日間)

研修では、学習指導要領に関する基礎的な実験と発展的な内容の研修を半日ずつ行います。とりわけ、「地学基礎」では、地学を専門としない教員のための研修になるよう心がけています。平成30年度は、「生物基礎・生物」①様々な染色法と観察、②種子の切片作成と観察、「地学基礎」①震源分布立体模型の製作、②微化石による古環境解析を行う予定にしています。

研修内容

- 平成29年度「物理基礎・物理」「地学基礎」
- 平成30年度「生物基礎・生物」「地学基礎」



＜物理基礎・物理＞
電流が作る磁場に関する教具の製作



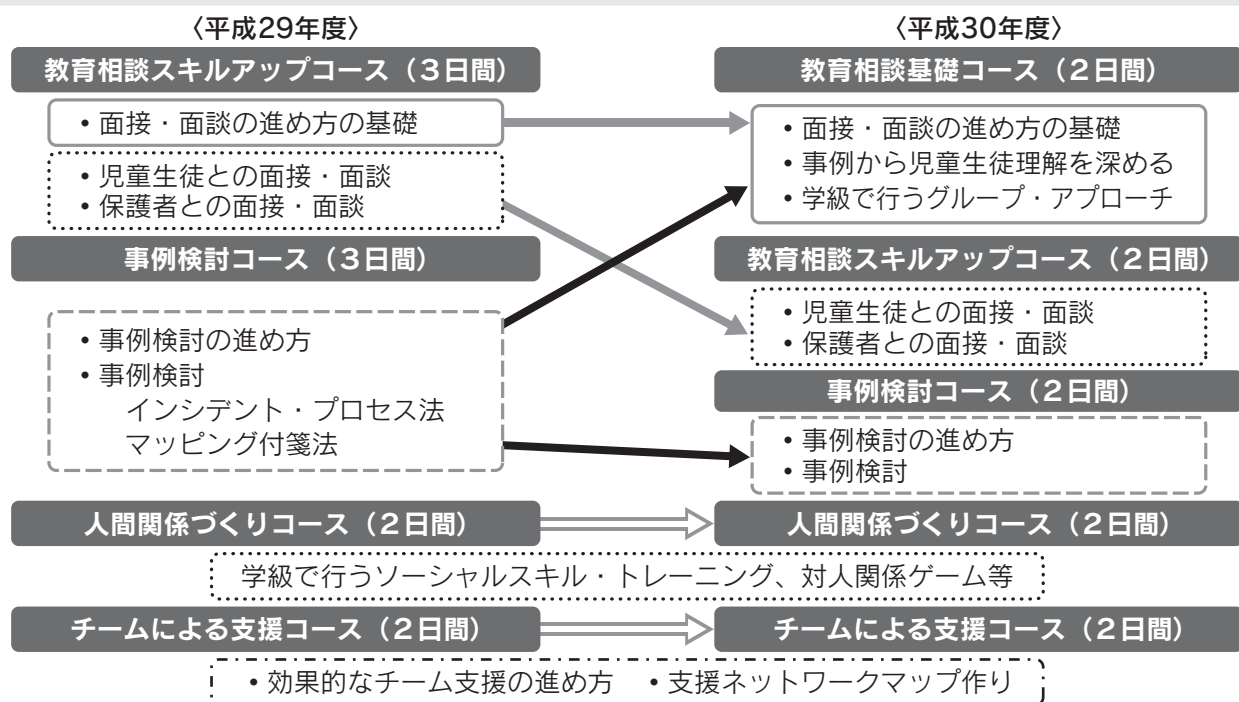
＜地学基礎＞
微化石による古環境解析

教育相談部

学校カウンセリング講座のご案内

— 受講しやすく、内容の濃い研修に改編しました。 —

学校カウンセリング講座は、これまで4コースで実施してきましたが、「学校を3日も空けられない」と「初歩的な内容を知りたい」という声がありました。そこで、若手教員が増えていることもあり、教育相談の基礎を学ぶ「教育相談基礎コース」を新たに設け、全コース2日間ずつの5コースに改編しました。先生方のニーズに応じた内容の濃い講座になっています。



学校におじゃまして取材し、みなさんに各校の取組の様子をお届けします。

学校レポート

質実剛健 自主自立 の精神を育成 — 文科省SGHの指定を活かす —

富山県立高岡高等学校

高岡高等学校は、明治31年（1898年）創立の長い歴史をもつ学校です。伝統的な校風である「質実剛健」「自主自立」の精神を日々の教育活動の中で育成しており、松村謙三や正力松太郎など創立当初から時代をリードする幾多の人材を輩出しています。来年度には創立120周年を迎えます。

平成26年度からは、文部科学省の「スーパーグローバルハイスクール（SGH）」の指定を受け、探究科学科を中心に、将来の国際社会を担うグローバルリーダーの育成に向けた先進的な実践を進めています。テーマを「ふるさとに誇りと愛着を持ったグローバルリーダーの育成」とし、アメリカでの海外研修や異文化理解講座等の活動を系統的に取り入れ、思考力や判断力、コミュニケーション能力の伸長に重点的に取り組んでいます。昨年12月のボストンやニューヨークで行われた海外研修では、郷土に関する課題研究の成果をハーバード大学やマサチューセッツ工科大学の学生に発表し、意見交換を通して相互の理解を深めました。また、ホームステイも行っており、生徒からは「人生のターニングポイントとなる体験だった」「今まででもっとも挑戦することの多かった濃密な時間だった」などの声が聞かれ、その体験の充実ぶりが窺われます。現在は普通科においても、異文化理解講座等でのグローバル教育や今後の探究活動導入に向けての準備を進めています。



海外研修の様子



部活動の活躍【かるた部】

また、高い知性と徳性を培う全人教育を実践してきた名門校として、授業だけでなく学校行事や部活動も活発に行われています。運動部の活躍に加え、かるた部が「小倉百人一首かるた選手権大会」で全国上位の成績を収めるなど、まさに文武両道の模範を実践している感があります。生徒たちの多くがふるさと富山を基盤にして全国や世界へ羽ばたくことが予感できる訪問となりました。

リレーエッセイ

「いろいろな人生に触れる」

富山県中学校教育研究会会長 小矢部市立石動中学校長 吉倉 哲夫

教頭2年目、勤務校の校長先生から一冊の雑誌を紹介されました。その雑誌は教育関係のものではなく、様々な分野で活躍されている方々の自伝やエッセイ、対談などが載せられているものでした。その雑誌のコンセプトは「人としての生き方を考える」というものであり、取り上げられる人は万人によく知られた方もあれば、知る人ぞ知るその道の達人など、幅広い分野に渡っているものでした。

心に残っている話として、自然分娩にこだわり診療所を開いている医師の話があります。その診療所では数名の妊婦が共同生活しており、しっかりとした健康管理の下で掃除や畑仕事をするなど活動的な生活を送りながら、自然分娩で出産するというものです。この医師は、医学の力で何でも安全に出産させるというのではなく、あくまで人という生き物本来の在り方で出産させたいという考えで実践しているというのです。これが100%よいことなのかどうかは分かりませんが、人の生をその根本から捉えたものかなと感じました。

子どもを教育する教師には豊かな人間性が求められますが、よく「教師は視野が狭い、世間を知らない」などと言われます。いろいろな人と交流して自分の視野を広めていくことが大切なのですが、なかなかそのような機会を作れないのが現実です。そこで、あえて教育から離れて、いろいろな人の人生に触れることができる書物を見つけて読むことをお勧めします。（ただ、私自身の人間性が豊かになっているか、自信はありませんが。）



■執筆者プロフィール

魚津市出身 高岡市立戸出中学校長、西部教育事務所次長・指導課長、富山県教育委員会小中学校課主幹、高岡市立高岡西部中学校長を経て平成28年4月より現職（平成29年4月より県中教研会長）

御意見・感想・学校が元気になるアイデア等お寄せ下さい。

教育長への直通メールアドレス：ml-powerup@pref.toyama.lg.jp